



のぎく

12月
だより



1年を締めくくる最後の月です。正月事始め（12月13日）とは、すす払いなどの正月準備に取り掛かる日です。昔は日没が1日の境だったため、大晦日の夜は年神様を迎える新しい年の初めと言われていました。

のぎくは12月で“29周年”を迎えることができました。10月から利用定員40名となり、新しい職員と共に『元気な笑顔』と『心で感じるあたたかさ』でご利用者様に“のぎく最高！！”と提供いただけるように、職員一丸となって、“利用者主体の自己実現”に向けて頑張っていきますので、これからもよろしくお願いいたします。

「冬に増える事故に注意！！」

【転倒】

冬は寒さによる体のこわばりや服の重ね着、暖房器具などにより転倒リスクが高まります。コードなどの配線は壁に沿わせ、カーペットは専用のテープで床に固定しましょう。

【窒息・誤嚥】

冬は寒さで口やのどの動きが鈍くなったり、新年に特別な食事をする機会が増えるため、窒息や誤嚥のリスクが高まります。かたまりがなくなるまでよく噛んで食べましょう。

餅は特に注意し、小さくして食べましょう。

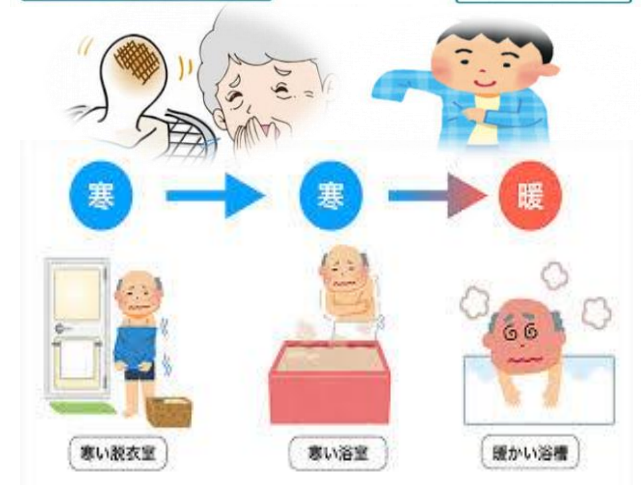
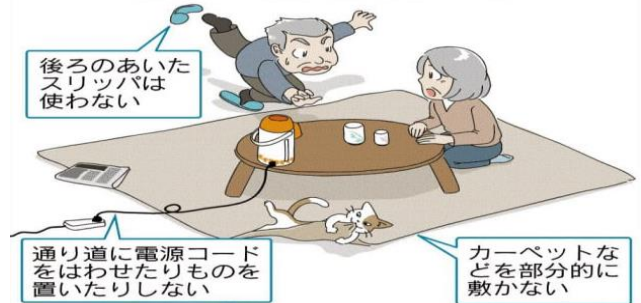
【ヒートショック】

温度差の大きい場所を移動すると、血圧の急な変動によって体調が悪くなることがあります。室温・服装を工夫して体を温め、温度変化を軽減しましょう。入浴前に脱衣所や浴室を温め、トイレには小さなヒーターを置いたり、便座にはカバーを付けるなど工夫しましょう。

【入浴中の事故】

冬の入浴は、温度差によって血圧が急に変動しやすく、意識を失って溺れるなど、命にかかわる事故につながる危険があります。お湯に漬かる前に手足から少しずつ掛け湯をし、浴槽からでるときは急に立ち上がらないようにしましょう。

家庭内の転倒事故を防ぐには



年末年始のお知らせ

下記の期間、お休みします。

休業期間 12月30日(水)

～1月 3日(日)



“のぎくの風景”





“ 誕生者のみなさん おめでとうございます ”



中村 チヨ様



石田 ヨシ様



齋藤キヨノ様



富樫 藤元様



田中領一様



釜谷 芳正様



“ 今月のご当地グルメ ”



スイーツバイキング

うまい！みなさん！
食べに来てね！



11月25日（水）寿司の日

職員による寿司の実演



“ 何のために働くのか、生きる意味 ”

営業せずに、年収億越えになったセールスマンがいます。

生命保険会社に就職したSさん。そこで彼が見たのはノルマに追われる現場でした。これではお客さんに喜ばれないと思い独立しました。

独立したのはいいが・・・ここから大変な毎日が続きました。

知り合いに電話しても嫌がられ・・・前に勤めていた会社の同僚にも相談しても嫌がられ・・・

子どもが2人いて、この先、やっていけるのか・・・焦る気持ちが出てきました。この頃は、1日中不安で食事ものどが通らない・・・寝つけない・・・寝汗びっしょりなんてしょっちゅうでした。

追い込まれたSさんは、「何のために働くのか」。仕事の目的について真剣に考えました。Sさんがたどり着いた仕事の目的は、『お客さんに喜んでもらうこと』。だったら、今日会う人を喜ばせればいんだと気づきました。

毎日、営業で2人か3人の人に会う。もし、その人たちを笑顔にできたら1年で約1,000人の笑顔をつくれる。自分は、「保険セールスマン」なのでなく、『1年で1,000人の笑顔をつくる男』なんだと。そう自分の仕事に対する認識が変わった途端に、ワクワクしてきました。

何のために働くのか？何のために生きるのか？

人は、人生の意味（物語）を求める生き物ですが、生きる意味を見いだせたときに、「生きること」が『生きがい』に変わります。

そのうえで取り入れたのが令和2年5月号で紹介した「予祝（よしゆく）」です。

毎朝、シャワーを浴びるとき、そのシャワーが幸せのシャワーだとイメージして、まず、自分を幸せで満たしていき、幸せがあふれたら、次に、今日会うお客さんを1人ひとり想像して、そのお客さんが笑顔になるところをイメージするのです。これぞ“笑顔の予祝”です！

そしてSさんは、相手の悩みを聞いたり、夢を聞いたり、純粹に出会った人を応援することに専念したのです。「今日、Sさんと会ったら笑顔になれた」と言われたら、その日の営業はマル（○）にした。初めはお客さんもないから、お母さんを喜ばせることから始めた。そうこうするうちにお母さんがお客さんを1人紹介してくれて、そのお客さんがまたお客さんを紹介してくれるという連鎖が始まったのです。

その連鎖は止まらず、お客さんが1,000人を超えて、なんと！！全国で150万人以上いる保険セールスマンの中で、日本一に輝いたのです。

目の前の人を笑顔にする。これが想像もできない未来の扉だったのです。

